

令和5年度 岡山県立倉敷工業高等学校 学校評価書

岡山県立倉敷工業高等学校
校長 横田 寿弘

1 自己評価

I 評価結果 (別紙参照)

II 特長と分析 (主なものを紹介)

【人間力の向上】

5類移行に伴い、行事の在り方について再検討しながら慎重に行事を精選し実施した。球技大会や体育祭、文化祭等を通して、コロナ禍では味わえなかった全校の一体感が感じられるとともに、家族への公開などを通して学校教育活動への理解も深まり、学校自己評価アンケートの数値も有意に上昇した。(「自治活動の充実」の評価が保護者昨年比10%上昇)

【学力の充実】

PBLの視点を取り入れた主体的・対話的で深い学びにつながる授業の研究、「Chromebook等のICT活用に関する研究」プロジェクトの継続によって、教員のスキルアップをサポートするとともに、公開授業等をおして一人一台端末の活用を推進し、分かりやすい授業の実践に努めた。学びの基礎診断(ベネッセ基礎力診断テスト)の分析による課題と成果の可視化。

【キャリア教育】

就職希望者210名、進学希望者80名、就職内定率100%を達成。岡山大学教育学部(岡山県工業科教員養成プログラム選抜)1名合格。第二種電気工事士合格者全国高校総合5位、高圧ガス製造保安責任者三種化学特別合格、危険物取扱者試験甲種2名、ジュニアマイスター特別表彰など、資格取得者がコロナ禍の前年度から大幅増加

【地域連携】

老松コミュニティの行事に参加、倉工ルミナリエやセタイルミネーション(新)等で地域に感謝、SOJAイルミネーションへ出展、カヌー部の高梁川河川敷清掃。天満屋倉敷店とのコラボ、刈り取った羊毛から紡いだ毛糸で製作したひざ掛けを高齢者福祉施設に贈呈、倉敷中央病院での車椅子整備等

【ものづくり】

ものづくりコンテスト溶接部門、電気工事部門で中国大会出場、ゼロハンカー全国大会、マイコンカーラリー出場。五軸マシニングセンタ、レーザー加工機、GCMS等の最新機器の活用。高校生探究フォーラムでの発表、ドローン学習、外部講師の積極的な活用を推進

【校内組織の活性化と人材育成】

業務の効率化と相互扶助の促進、業務内容の見直し。時機に応じたコンプライアンス研修の実施。OJTによる人材育成。自動採点ソフトの導入やFormsを活用した朝の欠席連絡等の業務負担軽減

2 学校関係者評価委員名 (五十音順、敬称略)

- 風早正明(本校PTA 会長)
- 滝澤 昇(岡山理科大学工学部 教授)
- 三宅 香(本校同窓会 副会長)
- 向谷 隆(岡山ロボケアセンター(株) 代表取締役)
- 山本邦彦(老松学区コミュニティ協議会理事・副事務局長)

3 学校関係者評価 (主なものを紹介)

- ・岡大への合格など今後の進路開拓に期待する。OBの工業教員養成を今後も期待する。
- ・地域に倉工の卒業生は大変多い。地域密着型の高校として水島地区への人材供給を。
- ・早朝のあいさつ運動など部活動を中心によく頑張っている。登校時の交通マナーの向上を。
- ・生徒募集に一層の努力を。工業高校の魅力をどう伝えていくか。
- ・中学校の先生はあまり工業高校のことを知らない。工業高校への理解を深める取り組みを。

4 来年度の重点取り組み (学校評価を踏まえた今後の方向性)

◎重点目標; 「倉工スタンダード」による「人づくり」～地域から信頼され愛される人に～

- ・【人間力の向上】…学校行事の精選と充実、豊かな人間性の育成、リーダーの育成等
- ・【学力の充実】…chromebookの活用、興味の持てる、わかる授業を実践、SDGs、PBL視点の学び等
- ・【キャリア教育】…進路(就職・大学進学)に応じた指導の充実、企業・学校研究の充実等
- ・【地域連携】…地域や社会と連携した学びの実践、ネットでの効果的な情報発信等
- ・【ものづくり】…最先端のデジタル化対応装置の活用、課題研究の魅力づくり、安全教育等
- ・【校内組織の活性化と人材育成】…相互扶助、ICT機器の有効活用による業務効率化、OJT等